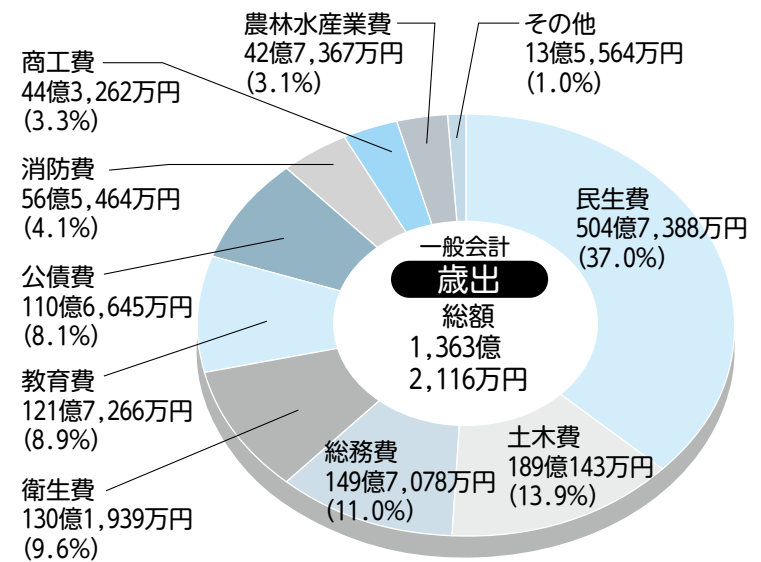
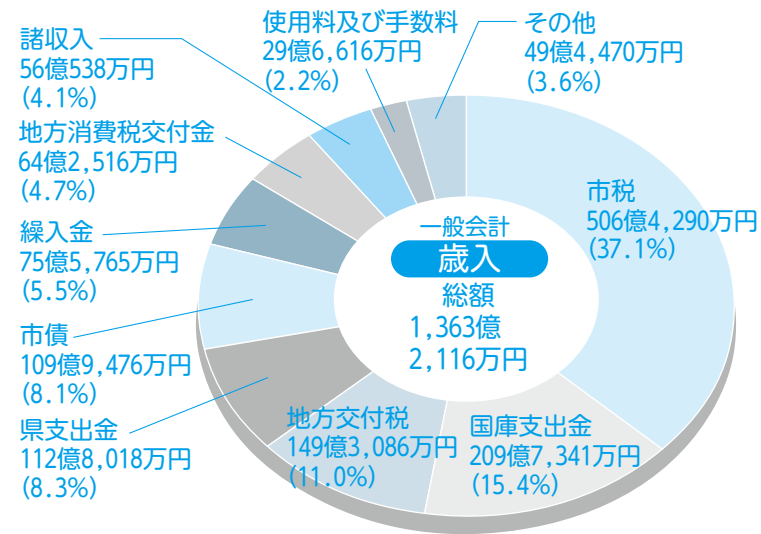


※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げが合計と一致しない場合があります。
 ※一般会計歳出予算額（性質別）の内訳は、市ホームページをご覧ください。



用語説明

- 市税 市民の皆さんや法人が市に納めるお金
- 国庫支出金 特定の目的のために国から交付されるお金
- 地方交付税 一定水準の行政サービスを提供するため、国から交付されるお金
- 県支出金 特定の目的のために県から交付されるお金
- 市債 道路や学校などの整備を行うために借入のお金
- 繰入金 各種基金から繰り入れられるお金
- 地方消費税交付金 県税である地方消費税のうち、市に交付されるお金
- 諸収入 市の預金利子や貸付金の元金収入など、他の歳入には含まれないお金

歳出

- 民生費 高齢者・障がい者・児童などの福祉、保育所の運営などに使われるお金
- 土木費 道路・住宅・公園の整備などに使われるお金
- 総務費 市税・戸籍・選挙関係、その他一般的な管理事務に使われるお金
- 衛生費 各種検診や予防接種、ごみ処理などに使われるお金
- 教育費 学校教育や文化・スポーツ振興などに使われるお金
- 公債費 借入金（市債）の返済に使われるお金
- 消防費 消防・水防・災害対策などに使われるお金
- 商工費 商工業や観光の振興などに使われるお金
- 農林水産業費 農林水産業の振興などに使われるお金

平成31年度の当初予算決まる

本年度の当初予算は、現行の新・市総合計画基本計画および復興・創生期間の終期まで残すところ二年となることを踏まえ、復興の総仕上げと「いわき新時代」への挑戦に向け「ふるさと」の力強い復興の実現に向けた総仕上げ」

「復興の先を見据えた『共創』による『いわき創生』の推進」「持続可能な行財政運営の確立」の三点を基本方針として掲げ、年度間の見通しに立った予算編成を行いました。

「めざしていくいわきの姿」の実現に向け、財政の健全性を保ちつつ、市民福祉の増進と将来世代への責任を同時に果たしながら、市民の皆さんをはじめ、さまざまな方々と連携する共創のまちづくりをより一層進めていくための「魅力あふれるいわきの復興・創生予算」を編成しました。

お問い合わせ
 財政課財政経営係
 ☎22・7420

総額 2,850億5,546万円
 (前年度比2.8%減)

一般会計	1,363億2,116万円 (前年度比0.7%増)
特別会計	852億5,359万円 (前年度比6.9%減)
企業会計	634億8,071万円 (前年度比4.2%減)

国民健康保険事業 308億8,076万円
 後期高齢者医療 38億9,226万円
 介護保険 314億2,110万円
 母子父子寡婦福祉資金貸付金 1億5,070万円
 土地区画整理事業 22億1,837万円
 卸売市場事業 4億3,462万円
 競輪事業 160億3,462万円
 財産区（6財産区） 2億2,117万円

水道事業 180億3,823万円
 病院事業 285億4,189万円
 下水道事業 162億8,589万円
 地域汚水処理事業 1億5,942万円
 農業集落排水事業 4億5,529万円

市議会2月定例会を開催

いわき市議会二月定例会が、二月二十一日から三月十四日までの二十二日間の会期で開催されました。議会では、総額二千八百五十億五千四百六十六万三千円に上る本年度の当初予算などが審議され、百十八議案が可決されました。



市長からの行政報告

「いわき市民の健康づくり等に関する連携協力協定の締結について」
 市民の皆さんの健康課題を明確化するとともに、効果的かつ効果的な健康づくりの推進などを図るため、いわき市医師会・株式会社ミナケアと同協定を締結したことを報告しました。

本年は「いわき市健康元年」として、市民の皆さんの健康づくりに向けた環境整備に努めることとしており、全学的な取り組みとして市民運動の機運を高め、市民の皆さんの健康増進と健康長寿の実現を目指していくと述べました。

○災害公営住宅家賃減免制度の拡充について
 一定の基準を超える収入がある方を対象に、震災前に建設した市営住宅の法定近傍同種家賃を基本として新たにみなし近傍同種家賃

主な議案

「いわき市病院事業の設置等に関する条例の改正について」
 きたいと述べました。

「第十回いわきサンシャインマラソンについて」
 今大会には、全国の一人を越えるランナーの皆さんにエントリーをいただいていたのですが、大会前日の降雪の影響などにより、当日は広い範囲での路面凍結が予想されたことから、ランナーの皆さんやボランティアの方々への安全確保を第一に考え、やむなく中止としたことを報告しました。ご支援・ご協力をいただいた関係者の皆さんに、深く感謝申し上げますとともに、次回開催を新たなスタートとして、これまで以上に魅力のある大会を目指して



昨年12月に開院した医療センター

補正予算の主な内容

- 小・中学校の空調設備に係る経費や平成30年度予算の最終的な整理など（一般会計＝114億2,626万9千円、特別会計＝1億3,102万8千円、企業会計＝△14億4,602万円）
- 平成30年度追加補正予算（国の補正予算に対応した事業＝3億3,527万3千円）
- 平成31年度補正予算（国の補正予算などに対応した事業＝6億2,433万6千円）

現行八パーセントの消費税率が本年十月一日から十パーセントに改定されることに伴い、療養費用算定方法等によらない手数料等の額などを改めるため、所要の改正を行いました。

共創による重点的な取り組み

○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、さまざまな事業を実施します。

【主な事業】

・ホストタウン推進事業 1,952万3千円

日本で開催されるラグビー国際大会に出場するサモア独立国ラグビー代表チームの事前キャンプ受け入れなどを行います。

・2020文化プログラム推進事業 2,098万5千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、地域の文化資源の魅力を再発見・再認識し、文化芸術によるまちづくりを推進するため、文化プログラムを実施します。

○健康づくり見える化事業 811万4千円

本市の国保データベース（KDB）などの保健データを基に、本市の健康課題を明らかにし、健康課題解決に即した事業展開方法を見いだすほか、健康課題解決に向けて健康いわき推進会議（仮称）を通じ、官民協働での健康づくりを推進していくとともに、市民の皆さんの保健データを公表して健康づくりの意識醸成を目指します。

○メタボ改善教室事業 617万3千円

生活習慣病に代表されるメタボリック症候群に悩む壮年期・高齢期の市民の皆さんを対象に、健康運動指導士・栄養士による長期的な予防教室を実施します。

○たばこ対策事業 161万1千円

たばこの害の普及啓発活動に加え、飲食店をはじめ多くの方が利用する施設の管理者などを対象とした講習会や、市民の皆さんを対象とした講演会を開催し、受動喫煙防止対策の推進を図ります。

○食育推進事業 160万6千円

市食育推進計画に基づき、本市の地域特性を生かした食育を総合的かつ効果的に推進するため、食育に関する普及啓発事業などを実施します。

○水素等利活用促進事業 5,042万8千円

次世代エネルギーの水素などを活用した社会の構築に向け、市民の皆さんや事業者へ燃料電池自動車（FCV）などの導入支援を行うため、購入費用の一部を補助します。

○下水汚泥等利活用事業【下水道事業会計】 3,200万円

持続可能な下水道経営や地球温暖化対策への貢献の観点から、今後の安定的な汚泥処理の実現を図り、エネルギーとして下水汚泥などの利活用を進めます。

○燃料電池公用車率先導入事業 802万4千円

水素利活用に向けた民間事業者の取り組みと歩調を合わせ、FCVを公用車として率先導入します。

○次世代交通システムによる交通イノベーション推進事業 146万円

本市の交通課題の解消による「スマート交通モデル都市」の構築に向け、いわき市次世代交通システム研究会を主体に、産学官が連携しながら、先端技術を活用した交通システムの導入を推進します。

○バッテリーバレー推進事業 982万7千円

バッテリー産業を核とした地域活性化、持続可能な社会の実現を目指すいわきバッテリーバレー構想を踏まえ、官民が一体となり、同産業の集積と利活用の先進都市を実現するための取り組みを推進し、産業振興や雇用創出を図ります。



鹿島町に開所した県内初の商用定置式水素ステーション



グリーンスローモビリティを活用した地域交通イノベーション実証事業

「いわき新時代」への挑戦と魅力あふれるいわきの創生

○診療所開設支援事業 3,000万円

市内に新規開設・承継する診療所に対し、開設費用の一部を補助します。

○いわきネウボラ（出産・子育て総合支援事業） 4億2,237万8千円

妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行うため、支え合いの仕組みとして、いわきネウボラを実施します。

【主な事業】

・母子保健・子育てコンシェルジュサービス事業 5,424万4千円

妊婦や子育て世帯のさまざまなニーズに応じた情報提供や相談・助言などの支援を行い、さらなる支援体制の充実・強化を図ります。

○外国人観光客誘客促進事業 1,277万4千円

風評払拭および訪日外国人旅行者の誘客促進を図るため、訪日外国人観光客向けの情報発信や、外国メディアなどを招いて本市や周辺地域を視察するプレスツアーを実施します。

○本社機能移転等事業者奨励金 2,200万円

市内に本社機能移転などを行う事業所に対し、増加した従業員数に応じて奨励金を交付することにより、地方への新たな人の流れを生み出すとともに、若年層の流出抑制と増加を図ります。



ソーシャルメディアなどで影響力のある外国の方を通して情報発信

ふるさといわきの復興の総仕上げ

○いわき都市計画図作成事業（復興基図整備事業） 1億614万6千円

東日本大震災による影響を含めた土地利用の経年変化に対応するため、既存の都市計画図の修正図化を行います。

○四ツ倉駅跨線人道橋整備事業 10億3,427万7千円

四ツ倉駅周辺の既成市街地と、災害公営住宅や復興公営住宅の建設に伴って居住人口が増加している新たな市街地との連携強化を図るため、跨線人道橋を整備します。

○津波被災地域企業等立地奨励金 1億4,263万円

東日本大震災で特に甚大な被害を受けた津波被災地域において、事業所の立地を促進し、津波被災地域の経済的または社会的基盤および市民の皆さんのなりの再生を図るため、事業を行う方に対する奨励金を交付します。

○海水浴安全対策事業 4,871万2千円

東日本大震災による被害が比較的少ない地区に海水浴場を開設し、期間内における監視体制の確保や安全対策を実施します。

○復旧・復興道路維持補修事業 10億721万3千円

東日本大震災の復旧・復興事業に伴う大型工事車両の通行により損傷した道路の維持補修を行います。



本年から波立海岸に久之浜・波立海水浴場を開設予定

当初予算
31年度

魅力あふれるいわきの復興・創生
予算の主な取り組み